

懐かしい電化製品に感心、感動！

～第 29 回会員企業見学会～

技術・技能委員会 資材部会



参加された 17 名の皆さん

会員企業見学会は、資材製品に関する理解を深めるとともに電気に関連する施設を見学することで幅広い知識を習得することを目的として、1993（平成 5）年に、明治ナショナル工業株式会社様（春日工場）、三菱電線工場株式会社様（伊丹製作所）を見学したのが始まりで、昨年 11 月には第 29 回目となる見学会として奈良県天理市にある「シャープミュージアム」を見学しました。

- | | | |
|--------|--------------------|---------------|
| 1. 開催日 | 2021 年 11 月 5 日（金） | |
| 2. 見学先 | シャープミュージアム（奈良県天理市） | |
| 3. 参加者 | 17 名（11 社） | |
| 4. 行程 | 11：00 | 梅田ハービスエント出発 |
| | 12：20～13：00 | 名阪国道 針テラス（昼食） |
| | 13：30～15：30 | シャープミュージアム 見学 |
| | 17：00 | 大阪駅着 解散 |



新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が明けて、2 年ぶりに「会員企業見学会」を開催することができましたが、まだまだ予断を許さない状況であり感染防止対策を実施した上で、例年より参加人員を縮小して開催しました。

シャープミュージアムとは、皆さんよくご存知の地元大阪の大手電機メーカーのシャープ株式会社の歴史と技術を見ることができるミュージアムです。「歴史館」と「技術館」の 2 つで構成されていたので、それぞれについて報告します。

歴史館



ミュージアム歴史館

シャープ株式会社は 1912 年（大正元年）に創業され、100 年を超える歴史を誇っています。（その間、何度か社名変更し、1970 年に「早川電機工業株式会社」から現在の「シャープ株式会社」になりますが、それ以前も文中では「シャープ」と表記します。）

シャープが発明、販売した製品は数え切れませんが、皆さんには何が頭に浮かぶでしょうか？年齢や性別、趣味によって様々な製品が思い浮かぶことと思います。今回の参加者にとっても、生まれる前の製品や技術に感心したり、若いときの思い出を懐かしんだり非常に興味深い展示品の数々でした。

(最初の発明)

創業者 早川徳次（-驚くほどの発明家・イノベーターです-）が最初に考案したのは、何と「徳尾錠」と名付けられたベルトのバックルです。1912年のことです。今も使われている穴の無いベルトを発明したのです。バックルから創業して、その後、大胆に機械を導入して、ベルトのバックル以外の金属加工業を拡大します。



創業者発明の穴なしバックル（徳尾錠）

(シャープペンシル)

次に1915年に考案したのが「早川式繰(くり)出(だし)鉛筆」、後に社名にもなった「シャープペンシル」です。まだ、家電は作っていません。誰もが使ったことのある「シャープペン」はシャープが発明しました。最初は国内では売れず、欧米で先に認められて、海外からの評判で国内でも人気商品になったそうです。



早川式繰出鉛筆

(ラジオ)

1923年の関東大震災が、当時は東京にあったシャープに大打撃をあたえ、これがきっかけでは大阪に移転したそうです。

大阪で最初に開発したのが「ラジオ」です。1925年のラジオ放送開始にあわせて国産第1号ラジオを海外製品の半額以下で販売し大ヒットを飛ばしました。人気を誇ったシャープペンシルにちなんだのと、ラジオの感度を象徴し、ラジオには「シャープ」の銘を打ったそうです。

電機メーカーとしてのシャープの始まりです。



国産第1号鉱石ラジオ

(テレビ)



国産第1号テレビ

ラジオの次はテレビです。1953年のテレビ放送開始にあわせて国産第1号となるテレビを発売します。まだNHKの契約数が、866件で「街頭テレビ」に国民が集まっていた時代です。テレビの普及をバネにシャープの業容も急激に大きくなっていきます。

また、21世紀初めには液晶テレビのトップメーカーになります。

(総合家電メーカー)

ラジオ、テレビ以外にも電子レンジ、冷蔵庫、洗濯機といった白物家電に乗り出します。冷蔵庫では日本初の野菜室や左右開きといったアイデアを実用化。電子レンジもターンテーブルの開発など先進的な家電メーカーとして名をはせていきます。展示されている製品は、私たちの世代には懐かしいものばかりでした。我々の業界になじみ深い「太陽光発電」も1962年には商品化されています。

(電卓・ワープロ・パソコン)

その後、事務用製品のヒットも生まれます。小型化された「電卓」や日本語ワープロ第1号の「書院」など懐かしい展示でした。

当初のパソコンは大きかったですね。

また「ポケコン」、「電子手帳」、携帯端末「ザウルス」など当時の先端製品が並んでいました。



液晶表示付き電卓

「歴史館」では、最初は6畳1間から始まり、家電メーカー、そして総合電機メーカーに発展したシャープの製品歴史を見ることができました。

技術館

「歴史館」では各時代の先進製品を見ましたが、「技術館」は現在のシャープの技術を見ることができました。

(エネルギー)



太陽電池モジュール

いち早く製品化し、大きなシェアを持つ「太陽電池」の生産過程を原料から実物で見ることができました。

(環境保全)

プラスチックを再生利用するリサイクル技術や工場廃液の浄化システムなど時代のニーズにあわせた電機メーカーの枠を超えた独自の環境技術を見ることができました。

(液晶)

シャープが先端に行く、液晶パネルができるまでの過程とシースルーディスプレイなど様々な製品への応用展開を CCD カメラ等を通して見ることができました。

「技術館」では上記以外にも今、シャープが取り組んでいる技術開発が展示されており、最後はロボットとの対話を楽しむことができました。



ロボホン

2年ぶりで第29回目になる今回の会員企業見学会でしたが、コロナ禍で人数の縮小や見学先を1ヶ所に減らすなど制約の中での開催でしたが、案内係の方も非常に熱心に説明してくださり、充実した有意義な会員企業見学会になりました。

会員企業見学会は毎年秋に開催しておりますので、「まだ参加したことがない」会員企業様がおられましたら、是非とも積極的な参加をお待ちしております。

(ダイダン(株) 伊藤記)